

## 近畿圏の将来像 (目標とする社会や生活の姿)

1 強くてしなやかな産業経済  
圏域の形成

2 内外から人々が集う交流・  
情報発信圏域の形成

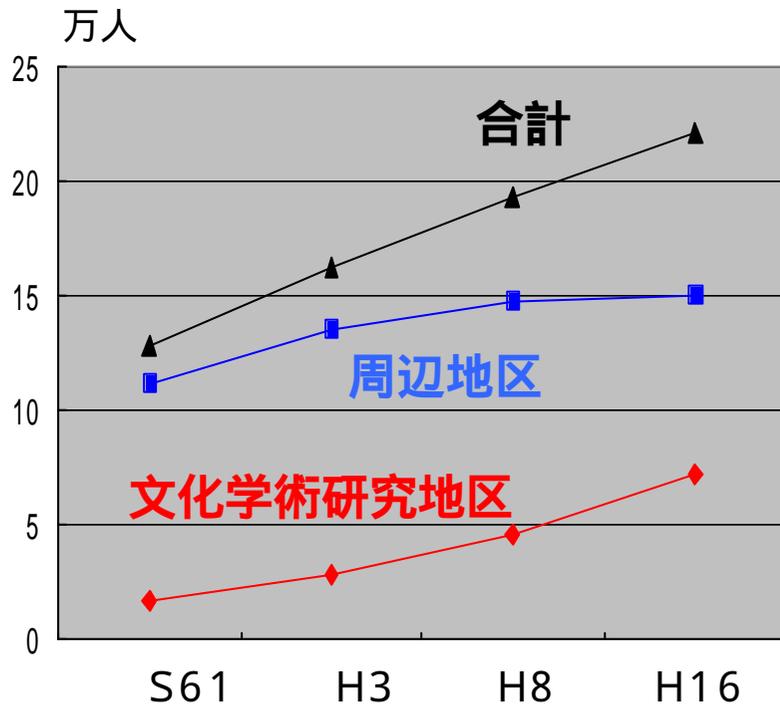
### 3 文化・学術の中核圏域の形成

4 歴史文化や自然と調和した  
安全で快適な生活空間の形成

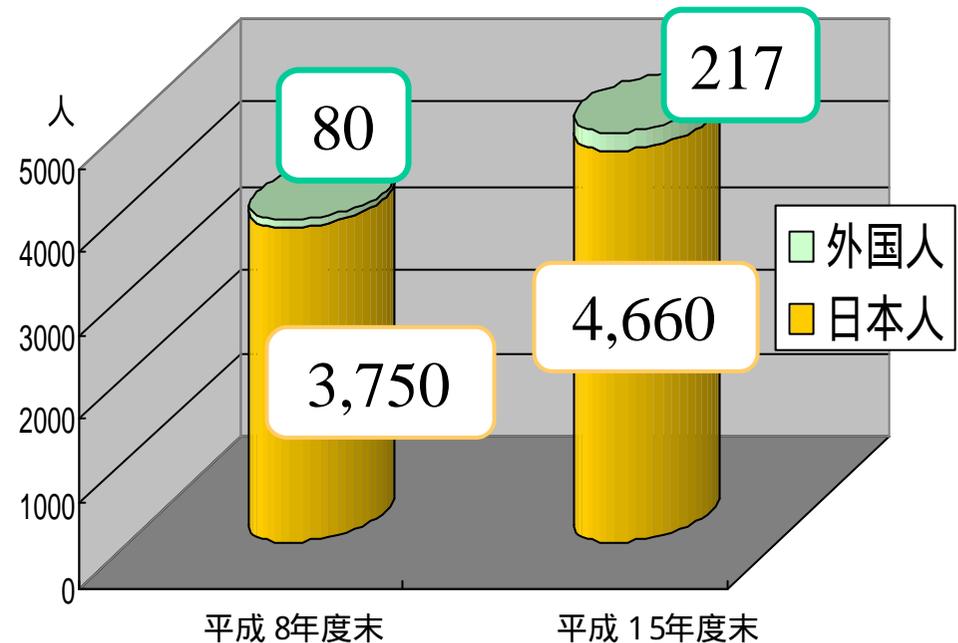


## 関西文化学術研究都市における人口、研究者数

都市内人口は着実に増加している。また、外国人を含む研究者の増加等、都市基盤整備の進展と相まって、文化学術研究都市としての役割強化が期待される。



関西文化学術研究都市内 人口の推移



関西文化学術研究都市内 研究者数の推移

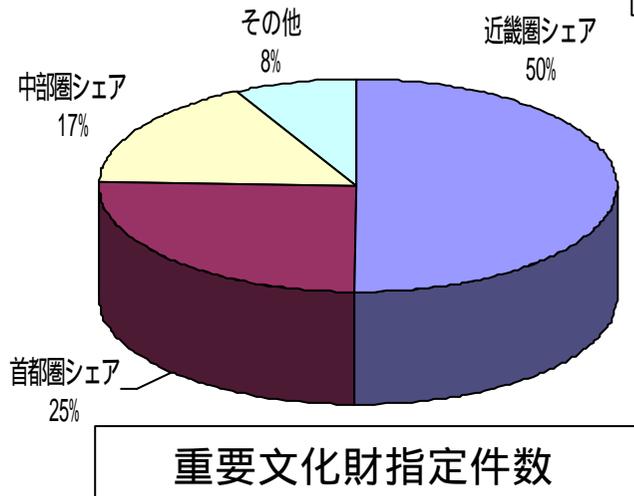
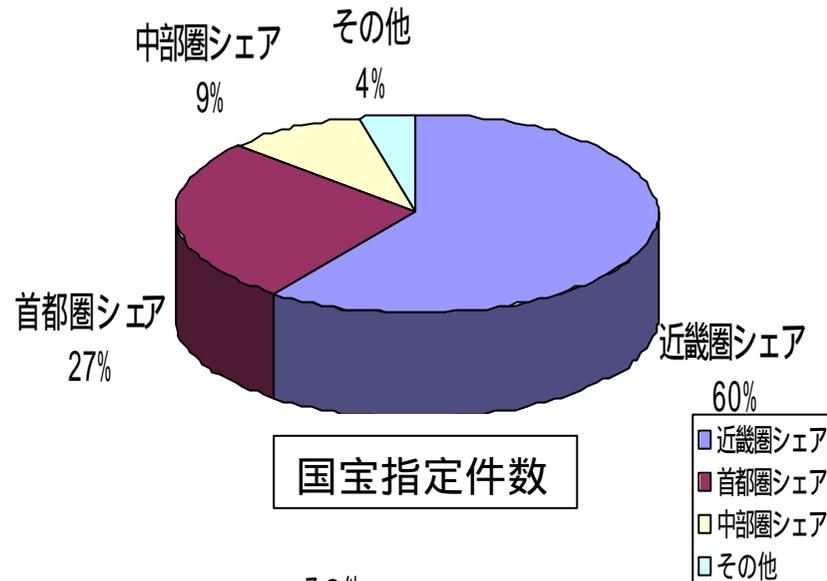
面積 :15,000 ha(うち文化学術研究地区3,600 ha 周辺地区11,400 ha)

想定人口 :410,000人(うち文化学術研究地区210,000人、周辺地区200,000人)

資料 関西文化学術研究都市推進機構資料により国土交通省国土計画局作成

# 国宝・重要文化財件数・ユネスコ世界遺産登録件数

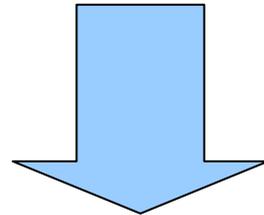
(参考: ■ は近畿圏)



記載物件名	登録年
1 法隆寺地域の仏教建造物	平成 5年
2 姫路城	5年
3 屋久島	5年
4 白神山地	5年
5 古都京都の文化財	6年
6 白川郷・五箇村の合掌造り集落	7年
7 原爆ドーム	8年
8 厳島神社	8年
9 古都奈良の文化財	10年
10 日光の社寺	11年
11 琉球王国のグスク及び関連産群	12年
12 紀伊山地の霊場と参詣道	16年

ユネスコ世界遺産登録件名

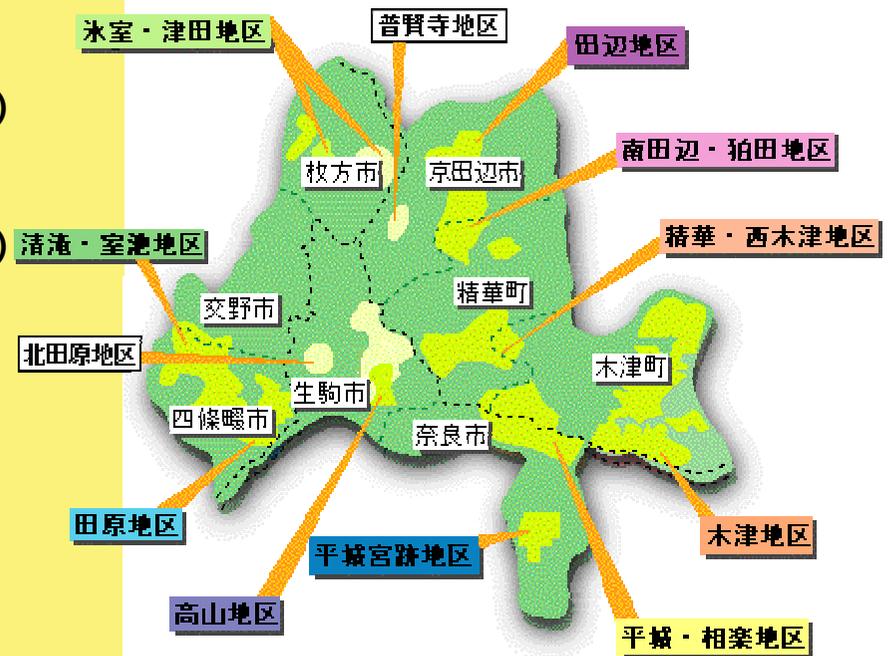
- 新たな学術研究を推進
- 世界的な価値を有する文化財を始めとする歴史文化遺産を適切に保全・再生



歴史文化の香りと学術の創造性にあふれ、人々に心の豊かさをもたらすことのできる「文化・学術の中枢圏域」の形成を目指す

## 関西文化学術研究都市

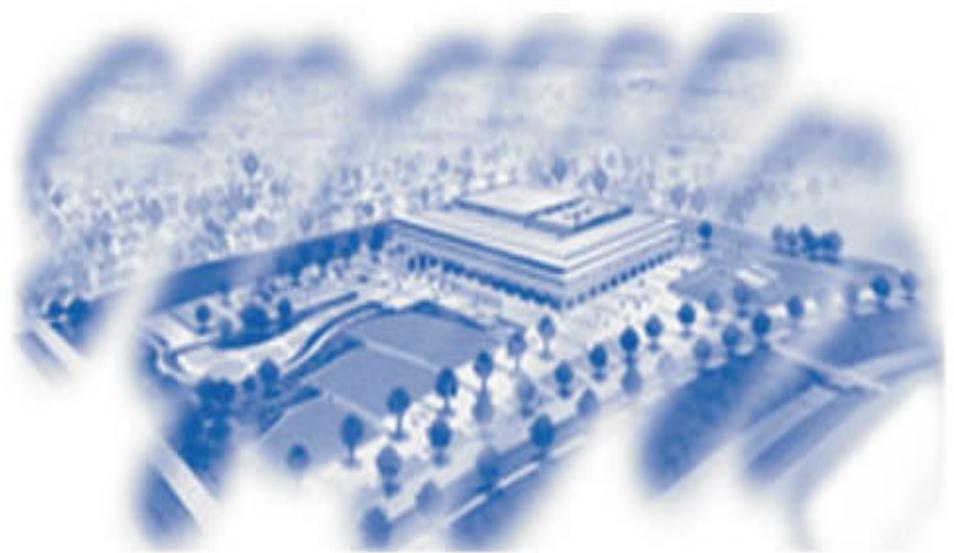
- 事業主体：  
都市再生機構、大阪府住宅供給公社、  
奈良県土地開発公社 等
- 事業位置：  
京都府・大阪府・奈良県にまたがるエリア
- 全体面積：概成1,632ha  
事業中732ha（計画3,600ha）
- 人口：7.1万人（計画21万人）
- 立地施設：開設済77、整備中5（H16.4現在）
- 経緯
  - S 53年 関西学術研究都市調査懇談会発足
  - S 62年 関西文化学術研究都市建設促進法  
公布・施行
  - H 6年 都市びらき
  - H14年度 国立国会図書館関西館、  
「私のしごと館」運営開始
  - H15年度（独）情報通信研究機構けいはんな情報通  
信融合研究センターオープンラボ棟開設、  
「私のしごと館」本格稼動



資料：(財)関西文化学術研究都市推進機構

## 奈良県立図書情報館（仮称）（奈良県奈良市）

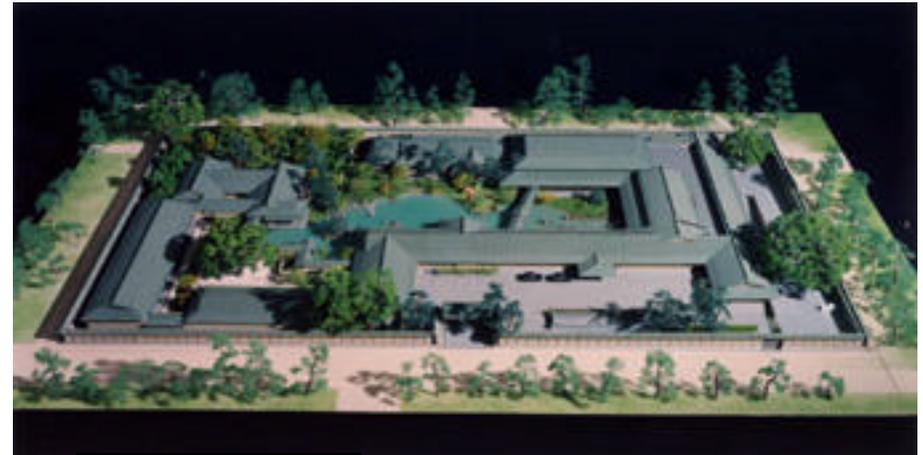
- 事業主体 : 奈良県
- 事業年度 : 平成12年  
~ 平成17年
- 総事業費 : 約115億円  
平成16年度事業費 : 約64億円  
平成16年度事業内容 :  
施設整備  
平成17年開館予定



資料 奈良県

## 京都迎賓館（仮称）

- 事業主体 :国（内閣府）
- 事業年度 :平成 13年度  
~ 平成17年度
- 建設工事費 :約200億円
- 平成16年度事業費 約57億円
- 経緯 予定
  - H 3年度 「迎賓施設の建設について」(閣議了解)
  - H13年度 本体工事着手
  - H17年度 開館予定



完成予想図

資料 :内閣府



現在の様子 (H16.4現在)

資料 :国土交通省

